

扁形動物および軟体動物からみた 左右相称動物における脳の進化と多様化プロセス

滋野修一・阿形清和（独立法人理化学研究所、
発生・再生科学総合研究センター、進化再生研究グループ）

脳は生命の特徴である精巧・多様化過程を非常に良く表現する器官の一つである。私達は左右相称動物における脳進化を理解するため、原始的と考えられる間柔組織性の形成様式を保持する扁形動物、および梯子状から無脊椎動物で最も大型化した脳が見られる軟体動物に注目した。本講では分子から形態学的視点に立った研究結果、および既存の文献学的データから、これら動物群の特徴を明確化し、新しい進化仮説および考察を提示したい。

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの
「閉じる」ボタンでウィンドウを閉じてください。